

群馬県立土屋文明記念文学館 第125回企画展 開催のご案内

「百花繚乱！浮世絵×文学」

江戸時代に誕生し、民衆の心を魅了した浮世絵。その中には、物語の登場人物や有名な一場面を描いたものなど、文学作品を題材にした作品が数多くあります。

本展では、歌川広重の保永堂版「東海道五拾三次」全五十五図（複製含む）を、十返舎一九による滑稽本『東海道中膝栗毛』の弥次郎兵衛と喜多八の旅の様子とともに紹介します。また、葛飾北斎、三代豊国（歌川国貞）、歌川国芳、豊原国周らによる、物語や和歌など、文学を題材にした浮世絵のほか、複製技術に定評のあった高見澤木版社が手がけた喜多川歌麿、東洲斎写楽らの作品を展示します。

1 開催期間

令和7年4月19日（土）～6月22日（日）

9：30～17：00（観覧受付は16：30まで）

休館日：火曜（4月29日、5月6日は開館）、5月7日（水）、5月14日（水）

2 観覧料

一般500（400）円、大高生250（200）円

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

3 展示資料

約150点

【主な展示資料】

- ・歌川広重「東海道五拾三次」全五十五図
- ・葛飾北斎「見立 女三宮」
- ・歌川国芳「小倉擬百人一首 三條右大臣」
- ・豊原国周「潤色三十六花撰 山辺赤人」 等

4 関連行事

※内容の詳細や申込方法については、当館HPをご覧ください

- (1) 記念講演会（要事前申込・先着各150名・要企画展観覧券） 会場：2階研修室
4月20日（日）14：00～15：30「幕末浮世絵の盛況—北斎、広重、国芳の活躍」 講師：内藤正人氏
6月7日（土）14：00～15：30「江戸の版元と絵師—『広重ぶるう』余話」 講師：梶よう子氏
- (2) ワークショップ「浮世絵多色刷り体験」（要事前申込・抽選各30名・無料） 会場：2階研修室
5月31日（土）、6月1日（日）各日14：00～15：00 講師：群馬県立歴史博物館職員

【事前取材について】

4月18日（企画展開幕前日）午後1時～5時までの間、取材等をお受けいたします。希望される場合はご連絡いただければ幸いです。



← 企画展関連行事の情報